

手話サロンのご案内

令和5年度に手話奉仕員養成講座を修了された方を対象とした手話サロンを開催します。手話サロンとは、手話奉仕員養成講座修了者に手話を使う機会・ろう者との交流の場を提供するもので、当センターが企画・運営をしています。

手話通訳者資格取得へ向けて手話奉仕員向けスキルアップ講座や手話通訳者養成講座Ⅰへ是非ステップアップしていただきたいという思いもあります。

内容としてはコミュニケーション力の向上を目的とし、手話で交流します。これまでの参加者からは、「参加者の手話のレベルがほぼ同じなので安心。分からなくても聞きやすい」「雰囲気がよく、楽しいのでまた参加したい」などの感想を頂いています。

開催は毎月1回、期間は4月～翌年3月の1年間(全12回)です。4月～6月の開催日・開催場所をお知らせします。参加は無料です。当センターHPにも随時最新の情報を公開していますのでご確認いただき、お申し込みをお待ちしております。

開催日	4月21日(日)	5月18日(土)	6月19日(水)
時間	10:00~12:00	13:30~15:30	13:30~15:30
会場	岐阜県聴覚障害者情報センター ボランティア室 (岐阜市藪田南5-14-53 県民ふれあい会館第1棟6階)		
締切	4月14日(日)	5月11日(土)	6月12日(水)

令和6年度 岐阜県要約筆記者養成講座のご案内

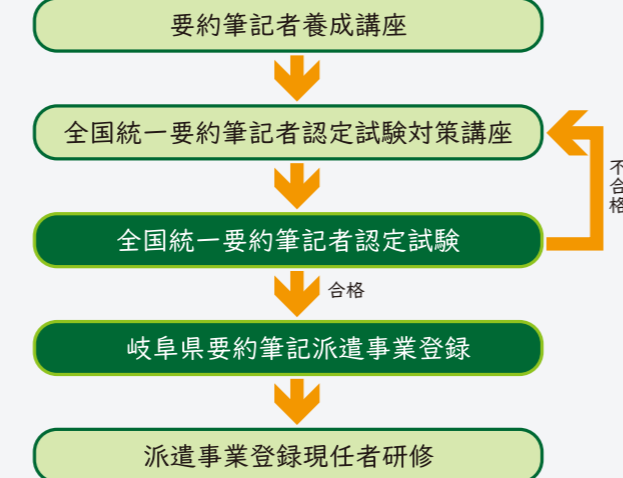
令和6年度要約筆記者養成講座の受講生を募集中です。「要約筆記」とは、聴覚障がいのある方に、話の内容の要点を短い文にまとめ、その場で文字にして伝える文字通訳です。

この講座は、「手書きコース」と「パソコンコース」があります。聴覚障がいや社会福祉の基礎知識、話しことばの要約方法などを学び、要約筆記者を目指す方に受講いただきます。

詳細や申込については、当センターのHPから [要約筆記者養成](#) のページをご確認ください。

(令和6年度手話通訳者養成講座Ⅱ・Ⅲへの募集は締め切りました)

要約筆記者になるまでの講座の流れ



2024年4月～6月 生活講座のご案内について

一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会が毎月発行している機関紙「ろうあ岐阜」に、3か月に1回センターだよりと生活講座の案内を折込させていただいております。

今月号は郵送の都合により、生活講座の案内を折り込むことが出来ませんでした。そのため案内については、情報センターのHP、または右のQRコードを読み取ってご確認ください。

ご不便をおかけして申し訳ありません。多くの参加をお待ちしております。



左のQRコードを利用すると、情報センターのHP、公式LINE、YouTubeに簡単にアクセス出来ます。



UD FONT by MORISAWA 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

岐阜県聴覚障害者情報センターだより第66号



2024.3月発行

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5-14-53 ホームページ <https://gifudeafcenter.jp/>
 県民ふれあい会館1棟6階 メールアドレス gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp
 FAX:058-275-6066 TEL:058-213-6786 指定管理者 一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会

YouTubeチャンネル登録者数3,000人突破！

いつもYouTubeをご覧頂きありがとうございます。おかげさまで2月11日にチャンネル登録者数3,000人を突破することが出来ました。この場を借りて、お礼を申し上げます。

チャンネル登録者数2,000人は、2023年2月20日に達成しており、およそ1年で1,000人の方に登録していただけたことを、大変うれしく思います。

情報センターの講座などのお知らせや、読み取りチャレンジシリーズを投稿していますが、より多くの視聴者に満足していただけるよう、内容をさらに充実していきます。

特に読み取りチャレンジシリーズは、撮影に協力していただける聴覚障がい者(ろう者)を募集しています。自分の仕事のこと、家庭のこと、昔のろうあ運動のこと、旅行のことなどなど、撮影テーマは何でも構いません。

撮影場所は、情報センター、もしくはお近くの会場(会議室等)を確保していただければ、出張撮影致します。もちろん、各自で撮影した動画をお送りいただいてもかまいません。

ご協力いただける方は、情報センターまでご連絡ください。



公式LINE リッチメニューをリニューアルしました

センターの公式LINEのリッチメニューが2月から新しくなったのをご存じでしょうか？

「リッチメニュー」とは、トーク画面下部(キーボードエリア)に固定で表示されるタイル状のメニュー(右画像)です。

それぞれのアイコンをクリックいただくと、YouTubeや、HPにアクセスでき、また、必要な情報をテキストで表示させたりすることが可能になっています。

最大の変更点は、「お問い合わせ」を追加しました。公式LINEのメッセージ機能を使ってのお問い合わせは、出来ないように設定してあり、これまでご不便をおかけしていました。現在は、「お問い合わせ」をクリックしていただき、Googleフォームを用いたお問い合わせが可能になっています。是非ご活用ください！



【注意】

- お問い合わせに対する回答は、メールにてご連絡します。そのため、次のメールアドレス(gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp)が受信できるように設定を行ってください。
- お問い合わせいただいた内容は、3営業日以内に回答します。休館日(毎週火曜日、祝日)をまたぐ場合、回答が遅くなりますのでご了承ください。万が一、3営業日を過ぎても回答がない場合は、お手数をおかけしますが、情報センターまで電話・FAX等でお問い合わせください。

アウトリーチ

聴覚障がい者の基礎知識（聴覚障がい者とは？コミュニケーション方法は？など）について学ぶ講座です。今回は12月と1月に行った2件をピックアップして紹介します。

12月6日（水）羽島市立竹鼻中学校

「人権デー」の講話として、全校生徒563名の皆さんに「聴覚障がいの基礎知識」に関する講座を行いました。

同校では人権について考える学習を継続的に行っており、校長先生はじめ担当の先生のお話からも丁寧に実践を重ねておられる様子を感じられました。講座中は、皆さんが講話を真剣に聞いてくださっていることが表情などからも伝わってきて、たいへん感銘を受けました。

限られた時間ではありましたが、生徒の皆さん一人一人に感じる場所があれば良いと思いながら講座を進めました。

事後に、担当の先生から「手話だけでなく、日常生活における困りごとや、講師の方の体験談は生徒にとって初めて知ることも多く、たいへん学びの多い会となりました。」とのメールをいただきました。

また、下記のような感想をいただきました。一部ですが、ご紹介します。

〈生徒の感想（一部抜粋）〉

最初に全校生徒が拍手した時に、この拍手も聞こえないのかなと考えた。その後、話を聞いて、耳が聞こえないって大変だなと思った。でも、そういう聞こえない人たちのために目覚まし時計などの工夫されたものがあると初めて知った。（中略）最初に気になった拍手のことが、最後“これが手話の拍手です”と教えてくださったこと、なんだかすごく嬉しかった。私は今後、もしかしたら耳が聞こえない人なのかもと気づいたら、優しく対応することを大事に生活していけたらと思った。今回の耳が聞こえない人の話を聞くという貴重な1時間をきっかけに、何か私にできることがないか、少しだけ考えてみようと思った。



1月29日（月）各務原市立各務小学校

4年生の総合学習において90分間の講座を行いました。今回、授業2時間分を活用させていただいたことにより、児童とのやりとりや体験活動を十分に織り込むことができました。児童の皆さんがたいへん積極的で、講師の問いかけにも前向きに答えてくださったので、終始楽しい雰囲気の中で講座が進みました。

「自分たちにできること」を考える場面では、呼びかけ方や伝え方をそれぞれ実演してもらいました。

筆談体験では、災害時の対応を考えました。まず、避難所での音声アナウンスを聞こえない人に伝えるという想定で、全員がメモを作成しました。その後、そのメモを使って聞こえない講師に実際に伝えてみることに数人が挑戦しました。講師に伝えるときには、一人一人が講師と眼差しを交わしながら素敵な表情を見せてくれました。

能登を中心とする震災の状況について見聞きしているお子さんが多く、災害時に困ることについての講師の話のしっかりと受け止めてくださっている様子がうかがえました。

最後の手話体験でも、覚えた単語を使って数人の子が講師と対話し、自分の好きなことを生き生きと伝えてくれました。



アウトリーチについて詳しく知りたい方は、当センターのHPから [アウトリーチ（広報活動）](#) のページをご覧ください。お電話・メール等にてお問い合わせください。

生活講座

12月～2月に行われた生活講座などを紹介します。

12月16日（土）出張版初級手話教室@飛騨

出張版初級手話教室を飛騨地域（高山市）にて開催しました。ありがたいことに、10名の方に参加していただきましたが、うち4名が聴覚に障がいのある方でしたので、みなさんに分かりやすいようにパワーポイントを活用し、自己紹介や趣味などの会話ができることを目標に進めました。

終わった後にもう一度参加したいとの声を頂き、大変うれしく思いました。

2024年度も出張版を飛騨地域のみならず、他地域でも実施できるよう開催していきたいと思えます。皆様、是非奮ってご参加ください！

12月23日（土）生活実践講座「しめ縄づくり」

毎年恒例となっている「しめ縄づくり」を今年も開催し、小学生3名含む16名に参加していただきました。

毎年参加されている方は器用に縄をなっていて、慣れていない参加者をフォローし合うなど、参加者同士で支え合う姿が見られました。水引の結び方はじめ、ミカンではなく本来は橙（だいたい）であること、いつ飾るかなど講師に説明を受けながら作りました。

国産の稲わらは香りもよく、歳神様を迎える準備ができ、最後に全員がとびきりの笑顔で記念撮影をしました。

12月27日（水）・1月6日（土）小学生・中学生向け初級手話教室

冬休み期間に小学生・中学生を対象とした初級手話教室を開催しました。12月は17名、1月は6名の小学生・中学生に参加していただき、手話を一所懸命覚えようとする姿がとても嬉しかったです。

学校で使う単語、冬といえばの単語を中心に学び、みんなの前で発表したり、初めて会う友達同士で手話で会話したりと楽しみました。最後に、映像クイズを解いてもらい、情報センターのオリジナルバッジをプレゼントすると、大変喜んでいただけました。

次回は春休み期間の3月27日（水）に開催します。テーマは「食べ物・動物」を使った会話です。是非たくさんのご参加をお待ちしております！

12月6日（水）・1月19日（金）・2月17日（土）

きこえない・きこえにくい方向け初級手話教室

毎月開催しているきこえない・きこえにくい方を対象とした初級手話教室。延べ15名の方に参加していただきました。毎回異なるテーマで実施しているため、毎月継続して参加される方もみえます。1回だけの講座で覚えきくのは難しいですが、こつこつと積み重ねて、上達される様子を見て嬉しく思います。

2024年度も毎月開催を続けていきますので、是非ご参加ください！

2月25日（日）出張版要約筆記体験@中濃

出張版要約筆記体験を可児市にて行いました。参加者は7名でした。中には、土岐市から参加してくださる方もいました。「要約筆記」とは、聴覚障がいのある方に、話の内容の要点を短い文にまとめ、その場で文字にして伝える文字通訳です。「手書き」と「パソコン」の2つの方法があり、それぞれを体験していただきました。参加者からの感想を一部紹介します。

- ・初めての体験でしたが、良かったです。個人的に要約筆記はやりたいと思います。
- ・実際の体験ができ、知らない事が分かり良かったです。